




泌尿器科専門外来のご案内

専門外来を第二川崎幸クリニック、さいわい鹿島田クリニックにて行っております。患者さんのご都合に合わせて、最寄りの外来クリニックをご予約下さい。また、川崎幸病院では、前立腺外来を行っております。ご希望の予約がとりにくい場合もございます。その際は、川崎幸病院地域医療連携室までご相談ください。また、救急疾患、入院治療は川崎幸病院で行っております。緊急を要する際には川崎幸病院に御連絡ください。

泌尿器科専門外来担当表（2015.7.1予定）※ 多少変更になる場合もございます。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
 第二川崎幸クリニック	午前	彦坂 玲子 沖田 竜治 中村 文彦	彦坂 玲子 永田 将一 小林 博仁	彦坂 玲子 古目谷 暢 服部 裕介	彦坂 玲子 古目谷 暢	長内 佳代子 榎山 和秀	鈴木 理仁 中村 文彦 中村 真波
	午後	彦坂 玲子 角谷 成紀 古目谷 暢	鈴木 理仁 彦坂 玲子 小林 博仁	彦坂 玲子 山中 弘行	* 沖田 竜治 彦坂 玲子 古目谷 暢	長内 佳代子	
	夕方			** 山中 弘行			
 さいわい鹿島田クリニック	午前				野田 泰照		
	午後				*** 野田 泰照		
 川崎幸病院	（前立腺外来） 午後			鈴木 理仁			

* 第1・3・4・5週目の診療になります。/ ** 泌尿器科夕方診療は川崎幸クリニックになります。
*** 午後の診療がない場合があります。お問い合わせ下さい。

第二川崎幸クリニック

川崎市幸区都町39-1

044-511-2112

さいわい鹿島田クリニック

川崎市幸区新塚越201番地
ルリエ新川崎3F、4F

044-556-2722

川崎幸病院 前立腺外来

電話予約受付時間
平日/8:00~20:00
土曜日/8:00~17:00
日曜日/8:30~17:00
祝日/9:00~17:00

診療時間
月~土 午前 9:00~12:00
午後 14:00~16:30
※夕方診療は川崎幸クリニックで診療致します。
夕方診療 17:30~19:30

電話予約受付時間
月・火・水・金/8:30~19:30
木・土/8:30~16:30
日・祝日/休み

診療時間
午前診療 9:00~12:30
午後診療 14:30~16:30
夕方診療 17:30~19:30(木、土除く)
休診日 日曜/祝祭日/年末年始

前立腺外来は下記(川崎幸病院連携室)までご連絡ください。



救急/入院

川崎幸病院



代表:
044-544-4611
(24時間対応)
連携室直通:
044-544-4638

川崎幸病院 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



川崎幸病院

地域医療連携室ニュース

いま求められる医療をもっと高めたい

2015
Vol.5

川崎幸病院 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



川崎幸病院 泌尿器科診療体制のご紹介



安全で、低侵襲な治療を提供します

川崎幸病院
泌尿器科 部長
鈴木 理仁

- 学会認定・資格等
- ・ 日本泌尿器科学会専門医・指導医
- ・ 日本医師会認定産業医
- ・ 日本がん治療認定医
- ・ 医学博士(東京医科歯科大学)
- ・ 日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会会員
- ・ 日本内分泌学会会員
- ・ 日本骨粗鬆症学会会員

お世話になっております。日頃は患者様の御紹介誠にありがとうございます。

当科は今年度より常勤中村文彦医師を新たに加え、現在常勤3名で第二川崎幸クリニックでの外来診療および川崎幸病院での入院診療を行います。

当施設は、腹腔鏡補助下小切開手術の認定施設であり、これまでも良好な結果を残しております。引き続き、前立腺癌、腎癌に対し、小さな創で行う、体に優しい手術を進めてまいります。また、状況に応じ通常の開放手術も行っております。

尿路結石症に対しては体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)を稼働しており、一方で、軟性腎盂尿管鏡を用いレーザーを使用し結石破碎を行う経尿道的レーザー結石破碎術(f-TUL)も行っていることから、複数の治療方法により、緊急を含め、すべての部位の尿路結石症に対応可能となっております。

また、前立腺肥大症においては、レーザーを用いて、前立腺核出術(HoLEP:ホーレップ)、前立腺蒸散術(HoLAP:ホーラップ)を行っており、今まで行われてきた前立腺肥大症治療と比較し、出血量が少なく、短期入院で退院可能となる、安全で低侵襲な治療も

行っております。

さらに、2020年に男性癌罹患数の第1位になると予測されている前立腺癌の早期発見・治療にも努め、早期の前立腺癌に対しては、病態や患者さんのご希望を伺いながら、放射線治療(IMRT)による治療を積極的に行ってまいります。

今後も、従来当科で行ってきた“安全で、低侵襲な治療の提供”を更に進めるべく努めてまいります。引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 一般泌尿器科疾患
- 尿路結石(腎結石・尿管結石)/前立腺肥大症/頻尿/尿失禁/尿路および生殖器の感染症 など
- 悪性腫瘍
- 前立腺癌/膀胱癌/腎癌/精巣癌/腎盂・尿管癌 など
- 救急対応疾患
- 膀胱破裂/陰莖折症/精索捻転/精巣破裂/腎外傷/尿道損傷 など

腹腔鏡補助下小切開手術 MIES ～腎癌、腎盂・尿管癌、前立腺癌など～

腹腔鏡補助下小切開手術(MIES)とは腹腔鏡手術と開腹手術のメリットを併せ持ち、5～6cmの傷(ミニマム創)で行える手術で、腎癌、腎盂・尿管癌、前立腺癌などの泌尿器癌や、副腎腫瘍や一部良性疾患に対して施行しています。

摘出臓器がようやく取り出せるだけの、小さなひとつの傷で、CO2 ガスを使わずに行うため、術後の痛みも軽減され、大半の患者さんは術翌日より食事および歩行ができ、術後数日以内に退院可能な状態になります。

当院は、**腹腔鏡補助下小切開手術施設認定**を取得しています。

腹腔鏡補助下小切開手術(MIES)の流れ

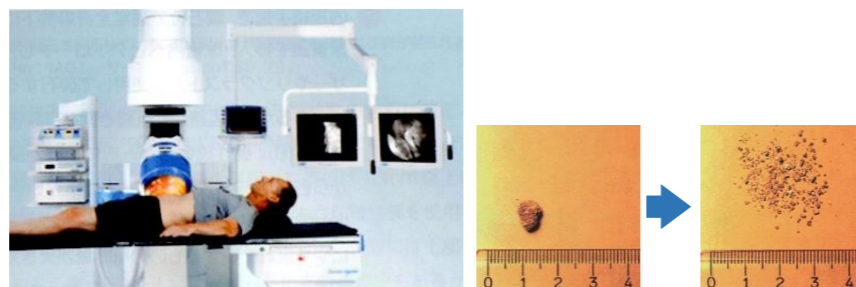
- ① 初めに臓器を取り出すミニマム創を作り、ここから全ての器具を挿入して手術を完了します。
- ② 創から挿入した内視鏡で拡大視および全員での観察を行ない、また同時に創からの直視で立体視と俯瞰視を併用します。
- ③ 手術を行う空間は、CO2ガスではなく解剖学的剥離面を展開することで確保します。
- ④ 手術を行う空間は腹膜外に確保し腹腔内は操作しません。そのため、術後腸閉塞等のリスクの解消が期待できます。

尿路結石症に対する低侵襲治療 ESWL/f-TUL

複数の治療方法により、緊急を含め、すべての部位の尿路結石症に対応可能となっております。いずれも体に創をつけることなく、低侵襲な治療が可能です。症例によって、日帰り治療または短期間の入院で治療は可能となっております。

■ 体外衝撃波結石破碎術 (ESWL)

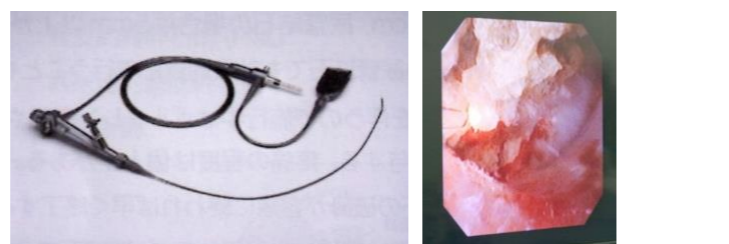
ESWLは体外から衝撃波を結石に向けて照射し、筋肉や他の臓器を傷つけることなく結石のみを粉々に破碎する低侵襲治療です。ESWLでは、症例によって日帰りまたは短期間入院での治療が可能です。



体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)

■ 経尿道的結石破碎術 (f-TUL)

先端にCCDカメラがついた最新の軟性ビデオスコープを尿道に挿入し、大画面・高画質で結石の場所を確認しながら、ホルミウムレーザーを使用して、結石を破碎します。碎石後は専用の器具を用いて碎石片を可能な限り体外に回収します。

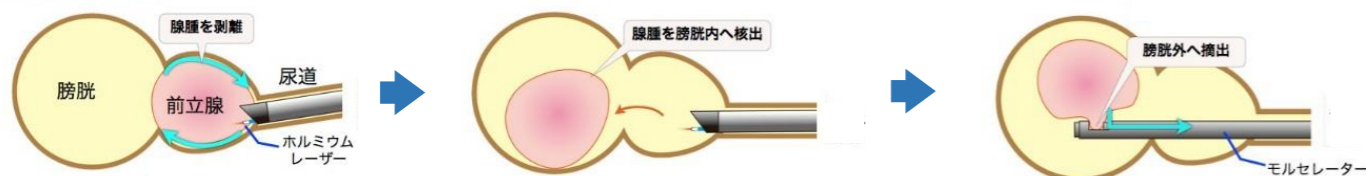


軟性腎盂尿管鏡(Olympus社製) レーザーで結石を破碎(f-TUL)

前立腺肥大症に対するレーザー治療 HoLEP/HoLAP

■ 前立腺核出術(HoLEP:ホーレップ)

前立腺の内腺と外腺の間の無理なく剥がれる面に沿って、ホルミウムレーザーで切開と止血を同時にしながら内腺全体をくり抜きます(核出する)。核出され遊離した前立腺組織(内腺)は細かく裁断して吸引除去します。従来法に比べ出血も少なく、入院期間や治療期間を短縮でき、開腹手術と同じ内容の手術を低侵襲で行うことができる治療です。



■ 前立腺蒸散術(HoLAP:ホーラップ)

ホルミウムレーザーを用いて内側から前立腺を蒸散する方法です。レーザーの特徴である、出血量が少ない、短期入院(2泊3日)で治療可能などのメリットがあります。他の病気(心疾患など)のため、従来の手術が不可能であった患者さんにも施行できます。



前立腺外来

前立腺癌の早期発見・治療につとめます

2015年4月より川崎幸病院にて前立腺外来を開設させていただきました。

前立腺外来では、前立腺疾患の中でも主に前立腺癌・前立腺肥大症の専門的診断・治療を提供することを目的とした外来を目指しています。PSA高値(4.0ng/mL以上)など前立腺癌を疑う症例や前立腺肥大症を疑われる症例がございましたら、お気軽に当院前立腺外来に御紹介いただけますと幸いです。



前立腺外来
毎週水曜日午後診療

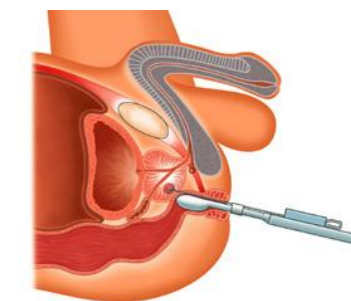
前立腺外来予約受付時間

平日/8:30～17:00 土曜日/8:30～12:30

☎ :044-544-4638 (連携室直通)

■ 前立腺生検(確定診断のための検査)

前立腺癌の確定診断をするために前立腺生検(バイオプシー)を行います。直腸に探触子(プローブ:超音波装置)を挿入し、前立腺の中の様子を確認しながら、前立腺癌の発生しやすい辺縁域を中心に6箇所以上から組織を採取し、癌があるか、またあった場合には、その悪性度(グリーソンスコアなど)を確認します。痛みは少なく、検査自体は15分程度で終わります。外来でもできますが、2～3日入院して行うこともあります。



■ 当院放射線治療センターとの連携 (IMRT)

当院で導入している最新鋭の放射治療装置エレクタシナジーは、照射野内の放射線の強度を変化させ、腫瘍には高い線量を集中させつつ周囲の正常組織には線量を減らすIMRT(強度変調放射線治療)が可能です。IMRTは、直腸や膀胱等に囲まれている前立腺癌の治療に特に力を発揮する照射技術です。そのため当科では、病態や患者さんのご希望を伺いながら放射線治療センターと連携し、放射線治療を併用するなど適切な治療を選択しています。



エレクタシナジー

泌尿器科スタッフ

当科では、“安全で、低侵襲な治療”を提供しております。また、泌尿器科救急疾患に対しても手術を行なっています。泌尿器科救急手術が可能な病院は稀なため、必要がございましたら、ぜひお問い合わせください。



(中央)
鈴木 理仁 泌尿器科部長
(右)
中村 文彦
(左)
沖田 竜治